

製品名: CAR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07916**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CXADR
別名	CXADR; CAR; Coxsackievirus and adenovirus receptor; CAR; hCAR; CVB3-binding protein; Coxsackievirus B-adenovirus receptor; HCVADR
遺伝子 ID	1525.0
SwissProt ID	P78310
免疫原	抗血清はヒト CXADR 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

背景

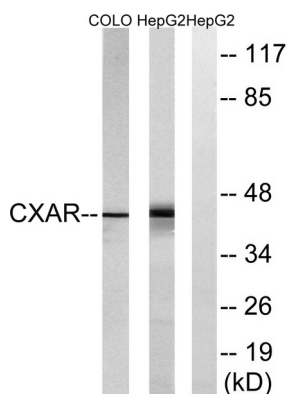
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、B 群コクサッキーウイルスおよび C 群アデノウイルスの I 型膜受容体である。この遺

伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっている。この遺伝子の疑似遺伝子は、15番染色体、18番染色体、および21番染色体に存在する。[RefSeq提供、2011年5月],domain:Ig様C2-type 1ドメインは、おそらくホモ二量体形成およびJAMLとの相互作用を媒介する。、domain:PDZ結合モチーフは、MPDZおよびBAIAP1との相互作用を媒介する。、function:タイトジャンクションの完全性に不可欠な上皮頂端結合複合体の構成要素。同種親和性細胞接着分子として機能することが提案されている。MPDZを細胞間接触部位にリクルートする。多形核白血球（PMN）の細胞膜に存在するAMICA1/JAMLとの接着相互作用を介して、PMNの上皮透過移動に関与していると考えられます。、PTM: N-グリコシル化されています。、PTM: Cys-259および/またはCys-260がパルミトイル化されています。細胞膜への適切な局在に必要です。、類似性: 2つのIg様C2型（免疫グロブリン様）ドメインを含みます。、細胞内局在: 上皮細胞では、タイトジャンクションと接着ジャンクションからなる頂端結合複合体に局在します。気道上皮細胞では、基底外側膜に局在しますが、頂端表面には局在しません。、サブユニット: モノマー。おそらく、隣接する細胞上で2つの分子がホモダイマーを形成します。LNX、MPDZ、BAIAP1、DLG4、PRKCABP、TJP1、およびCTNNB1と相互作用します。分泌されたアイソフォーム3、アイソフォーム4、アイソフォーム5は、受容体の細胞外ドメインと相互作用できます。アデノウイルスサブグループA、C、D、E、Fの繊維タンパク質、およびコクサッキーウイルスB1、B2、B3、B4、B5、B6カプシドタンパク質と相互作用し、これらのウイルスの受容体として機能します。組織特異性: 膵臓、脳、心臓、小腸、精巣、前立腺で発現し、肝臓と肺にも低レベルで発現しています。アイソフォーム5は普遍的に発現していますが、アイソフォーム3は心臓、肺、膵臓で発現しています。骨格筋では、アイソフォーム1は神経筋接合部に、アイソフォーム2は血管に見られます。心筋では、アイソフォーム1とアイソフォーム2は介在板に見られます。心臓では、血管壁の内皮下層に発現しますが、管腔内皮表面には発現しません。拡張型心筋症の心臓では発現が上昇します。

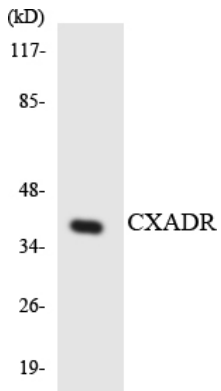
研究分野

ウイルス性心筋炎;

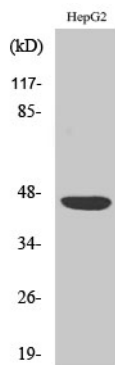
画像データ



CXADR抗体を用いたHepG2細胞およびCOLO細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CXADR 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



CAR ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析